

入院診療計画書(診査腹腔鏡を受ける患者様へ)

ID番号 氏名 病棟 症状 担当薬剤師  
 病名(他に考える病名) 担当医師 印

月日	術前日 ( / )	手術日( / )		手術翌日 ( / )	術後2日目 退院
		術前	術後		
経過	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。	( )時に手術室へ移動します。	術後は病室に帰ります。	水分の摂取が開始になります。 内服が開始になります。 食事が開始になります 4人部屋へ移動します	安全に日常生活の範囲を拡大していきましょう
目標	手術の必要性を理解できる	手術室へ行くまでの流れ □麻酔科医師の指示の内服薬があれば、服用してください	痛みは我慢せずに、スタッフに知らせるようにしましょう。	痛みは我慢せずに、スタッフに知らせるようにしましょう。 スタッフと一緒に、少しでもリハビリを行いましょう。ベッドサイドに立てるようにしましょう。	退院後の生活について疑問点がある場合は、看護師に相談しましょう。
検査		□前あきの下着、病院のジャマに着替えてください	手術からお部屋に戻ったら、3時間ごとに検温します	採血・レントゲン	必要に応じて採血・レントゲン
処置	手術前日の流れ □おへその掃除をします □入浴(シャワー) □肩に名前を書きます(医師)	□弾性ストッキングをはいてください(看護師が用意します) □義歯、めがね、時計、指輪などを外して下さい。 □貴重品は、ご家族の方へお渡しください □女性の方は、化粧やマニキュアを落としてください。 □髪の長い方は2つに結び、ヘアピンを外してください	手術からお部屋に戻ったら、3時間ごとに検温します 	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。 尿の管が抜けます 酸素と心電図モニターが終了になります <b>立ちましょう。 どんどん歩きましょう。</b>	以下の症状があるときは受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時。 ・排便や排ガスがなく、お腹の張りが続いている時。 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時。 ・黒い便が出た時。 ・高熱が出たり微熱が何日も続く時。 不安なこと、分からないことがありましたら、医師や看護師にご相談ください。 
注射	ありません	□午後手術を受ける方は、午前中に病棟で点滴をします			
内服	飲んでいるお薬は、全て看護師にお知らせください。病棟薬剤師もお薬を確認します。			水分を摂取する場合は、むせりや吐き気がないのを確認しながら飲んで下さい	薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。緩下剤の内服については、便の回数や性状を見て調節して下さい。 心配なときは医師に相談して下さい。
食事	水分は、1日1000mlを目安に補給してください。	朝6時まで水・茶・スポーツ飲料などの水水分は摂取可能です。 <b>コーヒー・牛乳・野菜ジュースなどは飲まないで下さい。</b>			職場復帰、旅行などは医師に相談して下さい
清潔行動	活動、入浴に制限はありません。	病棟を離れるときは、看護師にお知らせ下さい。	足の底背屈運動を行って下さい。血栓予防になります	食事を摂取しない間も、口中は清潔にしましょう シャワー浴ができるまで、体拭きをお手伝いします。	入浴のときは… 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。
説明	病棟での日常生活を説明します 手術の予定や経過について説明します	麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります			□次回予約票が渡されます。 □リストバンドを外します。 □栄養指導があります
受け胃られる手術方へ				たばこは、胃液の分泌を抑え胃粘膜を刺激しますので、 <b>禁煙を続けましょう。</b> コーヒー・紅茶を摂取したい場合は、空腹時は避け、食後に薄めのものを少量とるようにしましょう。	

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (No.220-1, No. 220-2) 承認月日 (平成27年10月27日)

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。  
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名: \_\_\_\_\_ 続柄: \_\_\_\_\_

特別な栄養管理の必要性  
有 ・ 無